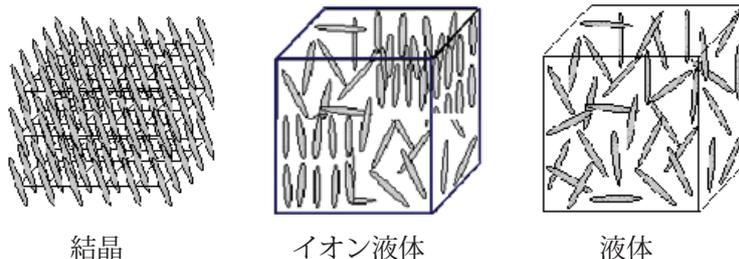


\*4 部分構造

通常の分子液体では、分子同士の相対的位置は完全に乱雑であると考えられている。これに対して、イオン液体中では、分子に比較して大きな空間領域（おそらく数十ナノメートル）で構成イオンが配列している（部分構造を形成している）可能性が指摘されている。

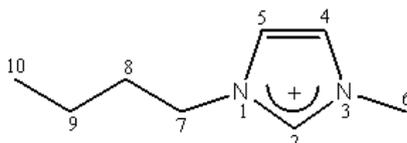


結晶

イオン液体

液体

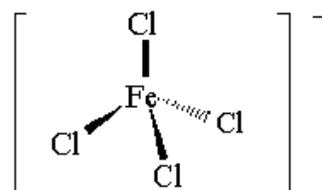
\*5 1-ブチル-3-メチル-イミダゾリウムイオン (bmim<sup>+</sup>) 右図1



▲ 図1

\*6 塩化鉄(III)酸イオン (FeCl<sub>4</sub><sup>-</sup>) 右図2

▼ 図2



## あとがき

法人化の激動期に理学部ニュースの編集委員長を勤められた佐々木晶先生（世間ではラーメン博士として名高い）が、10月より国立天文台の教授として栄転されました。佐々木さん、長らくご苦労様でした。10月からは、受け取ったバトンをとさず走らねばと思っています。

話は変わり、さる10月24日、本研究科名誉教授の今井功（いまい・いさお）先生が、90歳にて他界されました。先生は流体力学の第一人者として名高く、私も学部時代に、ご退官まぢかだった先生の流体力学の講義を拝聴することができました。他の先生がたの難しい講義がひしめく中で、今井先生の講義はあくまで丁寧でわかりやすく、しかも奥深く、「学ぶ喜び」の原点を感じたものです。最近でも、物理学科の忘年会（ニュートン祭）では、学問への好奇心を失わない先生の温顔を毎年のように拝見することができました。今年のニュートン祭ではお会いできないと思うと、たいへんに残念です。御冥福を心からお祈りするとともに、理学部ニュースでも今後、こうした訃報を掲載する体制を整えるべきかと考えています。

牧島一夫（物理学専攻 教授）

\*\*\*\*\*

第36巻4号

発行日 2004年11月20日

発行 東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

email kouhou@adm.s.u-tokyo.ac.jp

編集：理学系研究科広報委員会

牧島一夫（物理学専攻）maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp

小澤一仁（地球惑星科学専攻）ozawa@eps.s.u-tokyo.ac.jp

真行寺千佳子（生物科学専攻）chikako@biol.s.u-tokyo.ac.jp

米澤 徹（化学専攻）yonezawa@chem.s.u-tokyo.ac.jp

鈴木和美（庶務係）ksuzuki@adm.s.u-tokyo.ac.jp

\*\*\*\*\*

HP担当：

名取 伸（ネットワーク）natori@adm.s.u-tokyo.ac.jp

HP & ページデザイン

田中一敏（ネットワーク）kazutoshi@adm.s.u-tokyo.ac.jp

印刷・・・・・・三鈴印刷株式会社